

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	「ミグワニ県において、教育協力政策に掲げられた重点分野「School for All」モデルの実践をとおして、住民参加による教育の質的向上を通じた初等教育の普及に貢献する」
(2) 事業内容	イ. 事業形成・事業調整・事業評価のための会議 第1年度、第2年度と同様に、ミグワニ県開発委員会(DDC)会議に参加し、県開発関係者に対して定期的に活動の報告をおこなうとともに、特定の活動の進捗状況や問題の共有を、関係する個別の行政官に対して随時おこなっている。 ロ. 質の高い教育の実現 ◆早期妊娠予防に関する研修（集合型研修） 本年度事業においてミグワニ県全5教育区にて1回ずつ実施予定であるが、中間報告時点では研修の形成段階にある。 ◆教員対象早期妊娠予防のための特定校での研修 特定校での教員向け早期妊娠予防研修は、研修実施予定の10校のうち8校で活動を完了した。 ◆早期妊娠予防のための特定校での子ども保健トーク実演 研修実施予定の10校のうち、教員向け研修および、保護者向け研修の両研修を実施した6校にて、子ども保健トーク実演をおこなった。 ◆環境活動と子どもの健康のための特定校での研修 教員を対象とした環境活動と子どもの健康のための特定校での研修は、保護者向けの環境活動の実施に比重が置かれている状況であることから、この保護者向けの研修に教員が参加するようなかたちでの活動の形成に努めており、研修は未実施となっている ◆エイズ公開授業 本年度では10校で実施予定であるが、中間報告時までには、実践活動の促進のため個別小学校訪問を5つの小学校で実施し、うち1校にて公開授業を実施した。 ◆エイズ子ども発表会 本年度では10校で実施予定であるが、現時点で実施希望を受けている小学校と発表会の内容や日程調整をおこなっている状況である。 ハ. 住民参加による学習環境の形成 ◆教室建設 本年度中に4校にて実施する計画であった教室建設は、これまでに活動の実施が確定した3校にて建設活動をおこなっている。 ◆教室構造補修 本年度中に6校3教室の補修をおこなう計画であった教室構造補修は、これまでに活動の実施が確定した4校にて活動をおこなっている。4校のうち2校は2教室のみの補修活動となる。 ◆リテンド壁建設 本年度中に4校にて実施する計画であったリテンド壁建設は、これ

(3) 達成された効果	1. 学習機会としての効果 別紙「日本 NGO 連携無償資金協力事業詳細報告書」の3. 延べ裨益者数・研修指標モニタリングを参照。 2. 活動ごとの効果 ※【】内人数は直接裨益者数 イ. 事業形成・評価会議 ・課題理解と対処意識が向上する県開発委員会関係者 【3年度目標：20人】【中間概況：19人】 ・課題理解と対処意識が向上する郡レベル行政官 【3年度目標：15人】【中間概況：0人】 ・課題理解と対処方針が改善する区レベル行政官 【3年度目標：50人】【中間概況：24人】 ・課題理解と対処意識が向上する教育官 【3年度目標：6人】【中間概況：13人】 ・課題理解と対処方針が改善する教育関係者 【3年度目標：50人】【中間概況：0人】 ロ. 質の高い教育の実現 ◆早期妊娠予防に関する集合型研修 ・早期妊娠予防の包括的ガイダンスができる教員 【3年度目標：100人】【中間概況：0人】 ◆早期妊娠予防のための特定校での研修 ・早期妊娠予防研修で裨益する教員数 【3年度目標：80人】【中間概況：75人】 ・早期妊娠予防研修で裨益する生徒数 【3年度目標：1,560人】【中間概況：1,206人】 ◆環境活動と子どもの健康のための特定校での研修 ・環境と健康教育を教授できる教員 【3年度目標：60人】【中間概況：0人】 ◆エイズ公開授業 ・エイズ公開授業で裨益する教員数 【3年度目標：50人】【中間概況：29人】 ◆エイズ子ども発表会 ・エイズ子ども発表会で裨益する教員数 【3年度目標：50人】【中間概況：0人】 ハ. 住民参加による学習環境の形成 ◆教室建設 ・学校運営能力・建設技術が向上する保護者数 【3年度目標：800人】【中間概況：674人】 ◆教室構造補修 ・学校運営能力・建設技能が向上する保護者数 【3年度目標：900人】【中間概況：2,190人】 ◆リテンド壁建設 ・学校運営能力・建設技能が向上する保護者数
-------------	---

までに活動の実施が確定した3校にて建設活動をおこなっている。

◆水タンク設置

5小学校にて活動をおこなう予定の水タンク設置は、第1年度から現在までに水タンクを供与した5小学校にて、水タンクの土台作りと水と衛生に関する保健学習会を継続している。

◆トイレ建設

本年度には5幼稚園にて実施予定のトイレ建設であるが、中間報告時までに、本事業第2年度に活動をおこなったゴニ幼稚園とカトゥユ幼稚園の2幼稚園でのトイレ建設の継続をおこなっている。

◆学校環境活動

5小学校にて活動実施予定の環境活動は、昨年度からの継続として2校、本年度新規実施校3校の計5小学校にておこなっている。

◆保護者対象の保健・エイズ学習会

本年度に20校にて実施予定の保護者対象の保健・エイズ学習会であるが、活動実施希望が挙げた教室構造補修活動をおこなっている1小学校での実施のみにとどまっている。

◆保護者対象の早期妊娠予防研修

保護者対象の早期妊娠予防研修については、研修実施予定の10校のうち、教員向けの同研修を完了した6校にて実施した。

◆幼稚園保護者対象の保健学習会

10の幼稚園にて実施予定の保護者対象の保健学習会であるが、現時点で、第2年度に活動をおこなった2幼稚園でのトイレ建設の継続と、本年度に新規に開始した3幼稚園での活動をおこなっている。

二. 地域に開かれた学校の実践

◆住民代表対象のエイズ・リーダー研修

住民代表対象のエイズ・リーダー研修は、研修実施予定の30準区のうち13準区にて研修を実施済みである。

◆住民代表対象のエイズ・リーダーによるエイズ学習会実習

エイズ・リーダー研修修了者によるエイズ学習会は120名の研修修了者による学習会に当会専門家・スタッフが参加する予定である。これまでは研修の実施に重きを置いてきたため、中間報告時で17名の研修修了者による学習会の実施にとどまっている。

◆住民向け早期妊娠予防に関する学習会

住民向け早期妊娠予防に関する学習会は、中間報告時には活動実施地域の検討段階であり、未実施となっている。

	【3年度目標：160人】【中間概況：999人】 ◆水タンク設置 ・学校運営能力・保健知識が向上する保護者数 【3年度目標：150人】【中間概況：440人】 ◆トイレ建設 ・学校運営能力・保健知識が向上する保護者数 【3年度目標：150人】【中間概況：220人】 ◆環境活動 ・学校運営能力・環境知識が向上する保護者数 【3年度目標：350人】【中間概況：1,272人】 ◆保健・エイズ学習会 ・エイズ・保健知識が向上する保護者数 【3年度目標：400人】【中間概況：24人】 ◆早期妊娠予防研修 ・早期妊娠予防研修で裨益する保護者数 【3年度目標：200人】【中間概況：403人】 ◆幼稚園保健学習会 ・保健知識・技能が向上する保護者数 【3年度目標：500人】【中間概況：627人】 二. 地域に開かれた学校の実践 ◆住民代表対象のエイズ・リーダー研修 ・住民代表対象のエイズ・リーダー研修に参加する住民数 【3年度目標：600人】【中間概況：389人】 ◆住民代表対象のエイズ・リーダーによるエイズ学習会 ・エイズ学習会に参加する住民数 【3年度目標：1200人】【中間概況：293人】 ◆早期妊娠予防学習会 ・早期妊娠予防学習会に参加する住民数 【3年度目標：100人】【中間概況：0人】
(4) 今後の見通し	イ. 事業形成・評価会議 今後はより自発的な行政官からの課題への対処に関する提案や方策が挙がるような協議内容としていくことで、また、行政の具体的な取り組みと本事業内での当会の活動とで共通の課題に対する協働の取り組みをおこなっていくことで、本年度の目標の達成に努める。 ロ. 質の高い教育の実現 ◆集合型早期妊娠予防に関する研修は、計画どおりの計5教育区での実施完了を見込んでいる。 ◆特定校における早期妊娠予防のための研修は、未実施である2小学校での教員向け研修の完了および、4小学校での子ども保健トーク実演を完了する予定である。 ◆環境活動と子どもの健康のための特定校での研修は、教員単独の

研修の形成はおこなわず、保護者向けの環境活動に教員が参加するよう促し、保護者と教員との協働による環境活動の実践というかたちで活動をおこなっていく予定である。

◆エイズ公開授業および子ども発表会は、これら2つの実践活動の促進のため個別小学校訪問をおこなった5つの小学校の実施に向けたフォローアップをおこなっていく。また、追加の個別小学校訪問による活動実施の促進をおこない、本年度計画の達成を目指す。

ハ、住民参加による学習環境の形成

◆現在実施している、教室建設3校、教室補修4校、リテンド壁建設による土壌保全3校の施設拡充活動については、本年度中に活動の完了を見込んでいる。

◆水タンク設置については、保健学習会と土台作りが未実施となっている6校で活動を継続し、本年度中での活動の完了を見込んでいる。

◆環境活動については、計画どおり5つの小学校での環境活動の実施と完了を見込んでいる。

◆保護者対象の保健・エイズ学習会は、主に、本事業にて教室建設活動や教室構造補修活動をおこなっている小学校に対して、施設拡充活動と併せて保健学習会を開催することを勧めていく予定である。

◆保護者対象の早期妊娠予防研修については、研修未実施となっている残りの4小学校での活動の実施と完了を見込んでいる。

◆幼稚園保護者対象の保健学習会については、本年度に新規に活動を開始する幼稚園数が減る見込みであるため、2年度に活動を実施した幼稚園での活動の継続と定着を目指したフォローアップ活動にもより比重をおいていく。

二、地域に開かれた学校の実践

◆住民代表対象のエイズ・リーダー研修は、研修未実施地域である17準区で事業期間内の研修の実施・完了を見込んでいる。

◆エイズ・リーダー研修修了者によるエイズ学習会は、研修修了者からの学習会実施希望の申請数は比較的良好であるため、これらの学習会実施希望者による活動の実施を円滑に進めていく。

◆住民向け早期妊娠予防に関する学習会は、過去に特定校における早期妊娠予防研修を実施した学校の地域や、本事業実施中に地域住民や行政官から挙げた地域の子どものリスクに関する事例や意見、および当会専門家・スタッフの活動の観察から本学習会の実施のニーズがあると推定される地域での活動の実施をおこなう。